

Raymond Academy

レイモンド学園だより No.25

2009年6月7日



「モーセが手を上げているときは、イスラエルが優勢となり、手を降ろしているときは、アマレクが優勢になった。…アロンとフルはひとりはこちら側、ひとりはこちら側から、モーセの手を支えた。それで彼の手は日が沈むまでしっかりそのままであった。ヨシュアはアマレクとその民を剣の刃で打ち破った。」出エジプト 17:11～13

私たちレイモンド学園のために祈りの手を上げて祈ってくださっていることを心から感謝致します。最近とても多くの方に「学園のために祈っていますよ。」「ずっと祈り続けてきました。」「主に従って立ち上がってくれてありがとうございます。」などと声をかけられたり、メールを頂いたりします。中には、何年もお会いしていない方や、生徒達に直接会ったことのない方等からその様な言葉を頂きます。実に多くの方々から祈られているから、私たちはこの戦い(働き)を更に進んでいけること、そして力強く前進していけることを改めて思います。学園でなされている神様の御業は、沢山の方々からの祈りの実です。ハレルヤ！神様に感謝をささげます。

4月より始まりました新しい年度も6月になりようやく落ち着いてきました。しかし、学年が1つ上がった生徒達は、難度の増した学びの壁にぶつかり苦労しています。彼らなりの戦いです。主の助けと祝福を祈りつつサポートしています。

5月末にチアにっぽんコンベンションに参加しました。主講師のイスラエル・ウエイン氏がこのように語っておられました。「ホームスクーリングやチャーチスクーリングは、出エジプトのようなものです。イスラエルの民がエジプトにおいてパロから教育を受けていましたが、出エジプトをして約束の地カナンにいき、カナンの教育を受けようとしています。エジプトから出たいと思わなければ、約束の地に着くことはありません。しかし、エジプトを出た途端にカナンに着くわけではありません。荒野を通るのです。私たちは今荒野にいると考えて良いでしょう。」

荒野をさまよいながらも1代目の民は2代目を主の道に育てました。私たちも悩み苦しみ、まさに荒野を経験するかもしれません。出エジプトさせてくださった神様が私たちと子供達を日々導いて下さると信じて祝福を目指し進んでゆきたいです。尚お祈り頂けましたら感謝です。

学園長 伊東美徳

【報告】

4月24日(金) 新入生歓迎遠足(全員)

昼食からブレスクールも含め全員で大池公園にいき、アスレチックで楽しく遊びました。「すごく楽しかった!」「1学期に1回は行きたい。」と生徒達は大喜びでした。



5月9日(土) 運動会

ご父兄、ホームスクーラーの参加も含め総勢72名の参加で運動会が行われました。

5月22日(金) フィールド・トリップ 国会議事堂

通常のフィールド・トリップとは少し違い、社会科見学として全員で出かけました。今回は参議院の見学でした。見学後には議事堂前の公園で楽しくお弁当を食べ、有意義なフィールド・トリップとなりました。

【今月のテーマ】

4月 Thorough (完全な) : 何をおろそかにしたら、自分の仕事の効果が減ってしまうかを知り、その仕事をやり遂げるためにすべき事を全てする。

みことば : 「あなたの手もとにあるなすべきことはみな、自分の力でしなさい。あなたが行こうとしているよみには、働きも企ても知識も知恵もないからだ。」 伝道者 9 : 10

5月 Thrifty (儉しい) : 賢明に資産を管理し、働き、貯蓄を定期的にする事。

みことば : 「知恵のある者の住まいは、好ましい財宝と油がある。しかし愚かな者はこれをのみ尽くす。」 箴言 21 : 20

6月 Tolerant (寛容な) : 他者を受け入れ、性に合わないそれらのこだわりと行動を快く我慢すること

みことば : 「ですから、私たちは、もはや互いにさばき合うことのないようにしましょう。いや、それ以上に、兄弟にとって妨げになるもの、つまずきになるものを置かないように決心しなさい。」 ローマ 14 : 13

◆生徒の提出したレポートより掲載

「Thorough (完全な)」

わたしにとって「完全な」とは、自分の出来ることに最善を尽くして行うこと、またそのように準備することだと思いました。この「完全な」という性質を理解するのはとても難しいです。またそれを実践していくのはもっと難しいです。しかし伝道者の書9章10節のように自分の力で出来ることを神様のためにベストを尽くすことだと理解しました。

ソロモン王は完全な人でした。イスラエル人にとって最善でした。神様は人が自分のことは自分でするように望んでおられると思いますが、私たちに助けが必要なとき、神様は力を与えて下さり、問題を解決して下さいます。神様はわたしが出来ないことは要求していなくて、出来る最善を求めておられると思います。

東戸塚キリスト教会の伊東先生は、とてもこの特徴を備えた人だと思いました。先生は生徒一人一人のオフィスと学校に必要な備品を作して下さいました。もし1センチ、1ミリでも間違えたら、傾いて不完全なオフィスになってしまいましたが、生徒が集中

して学べるために、完全なオフィスを作って下さっています。先生は何が生徒に必要なのを知っています。私たちは完全を目指して作って下さる伊東先生に感謝すべきだと思います。

そしてわたし自身も神様や他の人を喜ばすために、自分の最善の完全を目指して行きたいと思います。

「マリヤがした行い」

5月に僕は「つましい」という言葉を学びました。つましいとは、賢明に資産を管理し、働き、貯蓄を定期的にとすることだと教えていただきました。自分の貯めたお金や、大事なものを、どういうふうにするか、ということが大事なのです。

チャペルタイムで聞いた話の中で一番印象に残ったのは、ベタニヤのマリヤのした行いのお話です。マリヤはとても賢明な人だと思いました。なぜなら、彼女がこつこつと貯めていたとても高価なナルド油を全てイエス様の上に(頭に)注いだからです。彼女は香油をすぐに使わないで貯めていました。そしてその香油を賢く使ったのです。僕はマリヤを見習いたいと思いました。

香油をイエス様にかけてときに、当時イエス様の弟子ユダは「もったいない」と言いました。なぜなら彼は盗人であって、金入れを預かっていて、そのお金をいつも盗んでいたからです(ヨハネ 12:6)。しかしイエス様は言いました。「そのままにしておきなさい。マリヤはわたしの葬りの日のためにそれを取っておこうとしていたのです」(7節)。マリヤのした行いについて、イエス様はとても喜んでおられました。

僕もイエス様に、どんな行いをすれば喜ばれるか、考えてみたいと思います。目標は怠け者にならず、努力し、賢明に資産を管理し、貯蓄を定期的にとすることです。貯めることは誰でも出来るかもしれませんが、それを賢く使うことが大事です。僕も頑張りたいと思います。

【お知らせ、祈りのリクエスト】

*6月16日(火)にオーナーロール・トリップに出かけます。

*高校3年生の進路のためにお祈りください。(本城亜利架さん、高橋真菜さん)

*7月7日(火)にメキシコへ帰国するカロリーナ先生のためにお祈りください。残り1か月となりました。滞在が祝福されますように。

*7月10日(金)午後終業式を行い、夏休みが始まります。(8月30日まで)

*8月11日(火)、12日(水)に行われる高校卒業認定試験を受験する生徒のためにお祈りください。

*8月下旬か9月上旬にメキシコから来日予定のミゲル兄弟の為にお祈りください。新型コロナウイルスの影響がないように、予定通り学園で奉仕していただけるように。

*教師と生徒の健康が支えられ、主にある訓練や学びに集中できますように。

*日本国内にACEスクールが毎年増えています。今年も東京に新しく増え、来年には新潟、千葉に増えようとしています。ACEジャパンの働きが主に大いに用いられ、クリスチャンの若者達が主にあって整えられていきますように。

*ACEスクールだけでなく、日本中にある40から50のクリスチャンスクールと、ホームスクーラーたちが祝福され、聖書に基づいた教育が実を結んでいきますように共に祈りましょう。

